

転覆海難が多くなるシーズンです！

昨年この時期に転覆海難で7名が死亡又は行方不明となる事故が発生しています。



2月9日、漁協から夕方の連絡を最後に漁船A丸と連絡が取れなくなったと海上保安庁に通報があった。翌10日、青森県大間埼東方沖で転覆している漁船A丸を発見。搜索したところ、乗組員4名の内2名を救助したが、後に死亡が確認された。その後も搜索したが、残り2名の乗組員は発見に至らなかった。



3月23日、養殖わかめ収穫のため出港した漁船B丸が、気仙沼沿岸の漁場付近で転覆しているのが発見された。乗組員3名の内、1名が救助されたが、後に死亡が確認された。その後も搜索したが、残り2名の乗組員の発見には至らなかった。

自船の安全確保3か条

1. 発航前、機関や燃料等の点検実施
2. 航行時、常時見張りの徹底
3. 故障時に備え、救助支援者の確保

第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1

(代表) 022-363-0111

(直通) 022-365-9609

🔍 漁船かわら版

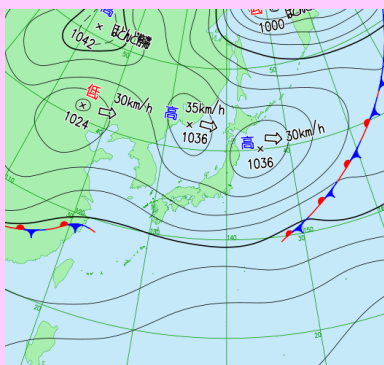
検索

春季の気象に関する特徴

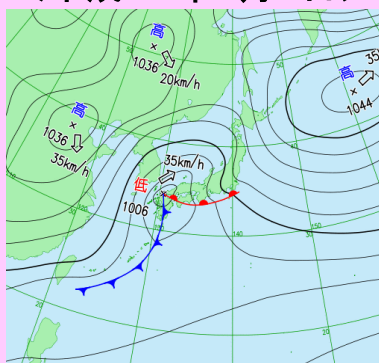
- 春季は低気圧と高気圧が交互に日本付近を通過することで、**天気**が数日の周期で変化
- 南岸低気圧や日本海低気圧の発達等により、大雨や突風、高波をもたらすことがある
- 太平洋沿岸海域の濃霧の発生は、**5月から8月ごろ**にかけて最も多くなります

天候が大きく変化した例

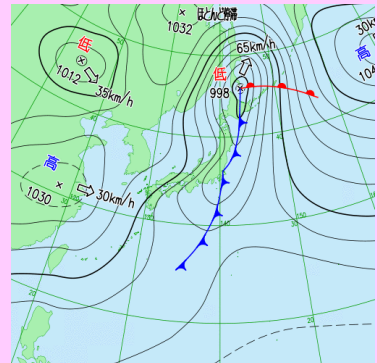
<平成30年3月7日>



<平成30年3月8日>



<平成30年3月9日>



7日は西日本から東日本にかけて晴れ、穏やかな気候となった。

8日は発達した低気圧の影響で全国的に雨、太平洋側を中心に雨、風が強くなり、翌日9日には東・北日本を中心に強い雨、沿岸部では強風と荒れた天気になった。

漁船の衝突事故が多発しています

貨物船
1隻
11%

平成30年2月

船舶種類

漁船
5隻
56%

浸水
1隻, 11%

平成30年2月

事故種類

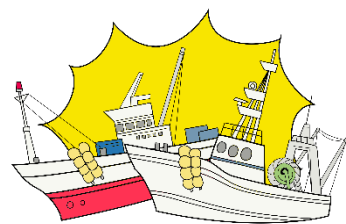
転覆
1隻
11%

機関故障
2隻, 22%

衝突
5隻
56%

作業船
3隻
33%

2月は漁船による衝突事故が多発、原因の多くは「見張り不十分」です。操業中及び作業中で相手船の存在に気づいていなかったり、相手船が避けてくれるだろうと回避行動をとらず衝突してしまう場合がほとんどです。見張りを徹底し、衝突回避動作は早めに行いましょう！



H30 東北地方 漁船事故発生状況 (3月末現在)

青森県
2隻

岩手県
0隻

宮城県
0隻

秋田県
0隻

山形県
0隻

福島県
3隻

死者数： 0人